

医学会発 第 23 号

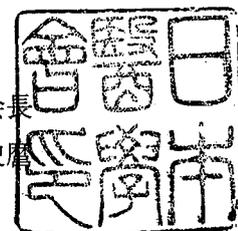
平成 26 年 5 月 16 日

一般社団法人 日本専門医機構

理事長 池田 康夫 殿

日本医学会会長

高久 史麿



日本医学会副会長

臨床部会運営委員会

がん領域に関する作業部会部会長

門田 守人

「がん領域に関する専門医制度」についての提言

厚生労働省「専門医の在り方に関する検討会」は、2013年4月22日付けで専門医の認定などを行う第三者機関の設置と、総合診療医を基本領域の専門医に加えるという二つを柱とする報告書を取りまとめ、本邦の専門医制度の再構築へ向け大きな一歩が踏み出された。

しかしながら、同報告書には、がん診療に関する専門性や資格についての明確な言及はない。日本医学会では臨床部会運営委員会の中に「がん領域に関する作業部会」を設け、この問題を検討した。作業部会は下記の委員によって構成され、日本医学会副会長の門田守人を部会長とした。

日本医学会臨床部会運営委員会「がん領域に関する作業部会」委員（五十音順，◎部会長）

池田 康夫 早稲田大学理工学術院教授/日本専門医制評価・認定機構理事長

大江裕一郎 国立がん研究センター東病院副院長/日本臨床腫瘍学会理事長

西山 正彦 群馬大学医学系研究科教授/日本癌治療学会理事長

野田 哲生 がん研究会代表理事・常務理事・がん研究所所長/日本癌学会理事長

平岡 真寛 京都大学医学研究科教授/日本がん治療認定医機構理事長

◎門田 守人 がん研究会有明病院病院長/日本医学会副会長

日本医学会臨床部会運営委員会「がん領域に関する作業部会」は、2013年11月5日、12月9日、2014年3月10日の計3回開催された。第1回の会合では「がん医療の在り方」をどう専門医制度に組み込むかについて協議した。第2回の会合では、腫瘍内科の専門医制度と、がんの共通基盤教育について協議した。第3回の会合では、がんの共通基盤教育、

がんの専門医制度の将来像とその具体化等について委員間で意見を交換し、本邦のがん医療のさらなる発展を期し、以下のような作業部会の報告書（提言）をまとめることとなった。

今後のがん領域に関する専門医制度につき、以下のことを日本専門医機構に提案したい。

- 1) 内科サブスペシャルティーターに腫瘍内科を新たに加える。
- 2) がんを取り扱うすべてのスペシャルティーター（基本領域）では、がんに関わる共通基盤の習得を必須とし、がん医療を理解し遂行するのに必須の基礎知識を習得することを目的とした、がん共通基盤の研修プログラムを導入する。
- 3) がんを取り扱うサブスペシャルティーターの領域では、最新のがんに関わる共通的知識・技術を幅広く履修することを目的とした横断的な研修プログラムを導入する。
- 4) 上記がん共通基盤の研修プログラムは、日本がん治療認定医機構も討論に参加し、日本専門医機構がこれを構築する。